《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用

《担当者名》近藤里美

【概要】

音楽を療法的に用いるための基礎的な音楽知識を習得する科目である。

【学習目標】

音楽を療法的に用いるために音楽理論の基礎知識を学ぶ。

1. 楽譜を解釈する。
2. 音程について説明できる。
3. 調性について理解し、移調や転調をすることができる。
4. 和音の構成を理解し、記譜することができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	オリエンテーション	講義の進め方、概要、評価の説明	近藤里美
2	様々な譜表と音名	・様々な譜表と音名の理解 ・音名、変化記号の記譜法	近藤里美
3	音楽記号	・様々な音楽記号の理解 ・音符、装飾記号、省略記号、反復記号などの記譜法	近藤里美
4	音程	・音程の種類を理解と記譜法	近藤里美
5	音程	・単音程と複音程の理解と記譜法	近藤里美
6	「音程」についてのまとめ (課題提出)	「音程」について整理したレポートの提出	
7	音階	・音階の理解と記譜法	近藤里美
8	音階と調性	・音階と調性の理解	
9	音階と調性	・音階と調性の理解2	
10	「音階」についてのまとめ	「音階」について整理したレポートの提出	
11	移調と転調	・移調と転調の理解とそれぞれの記譜法	近藤里美
12	移調と転調	・移調と転調の理解とそれぞれの記譜法	近藤里美
13	和音	・和音の理解と記譜法：三和音、長、短和音など	近藤里美
14	和音	・和音の理解と記譜法：和音の配置と転回形	近藤里美
15	まとめ (課題提出)	・授業を振り返り要点の整理と、各自の課題の抽出	近藤里美

【評価方法】

平常点50%、授業内で実施する確認テスト50%

【備考】

教科書：講義時に資料を配布する。

参考書：小谷野謙一 著「よくわかる楽典の教科書」ヤマハミュージックメディア 2011年
笠原潔 著「音楽理論の基礎」放送大学教育振興会 2007年

【学習の準備】

シラバスの講義予定に基づき、十分に事前学習・事後学習を行うこと。事前学習、事後学習にはそれぞれ40分の時間を費やすこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP3）作業療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

【実務経験】

近藤里美（音楽療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での音楽療法士としての実務経験を活かし、音楽療法に必要な楽典の知識について講義を行う。